

平成27年12月10日

陳情第30号

小田原市スポーツ振興・教育環境改善基金の改正を求める陳情

小田原市スポーツ振興・教育環境改善基金の改正を求める陳情

【陳情趣旨】

平成27年12月定例会に提案され、12月10日の市議会本会議で可決制定されることになった『小田原市スポーツ振興・教育環境改善基金』（以下、「基金」という。）について、所管の総務常任委員会においてもその基金の性質に疑義が呈されたように、目的や基金の原資・使途について十分な検討がなされたとは考えられませんので、以下の理由により、適正な改正を求めるものです。

1 資金原資について

ヒルトン小田原リゾート&スパの売り払い代金と、ヒルトン従業員に提供されている従業員宿舍賃料（修繕費を控除した残金）が主たる原資となることが指定されていますが、総務常任委員会で委員からも指摘があったように、市内外からの有形無形の寄附を想定しておりません。基金は広く薄く集めるという発想も必要であり、末永いスポーツ環境の整備につながります。

2 目的の変更について

小田原市の学校校舎の多くは建築後40年を過ぎて、メンテナンスが必要な状況を超えて、早期に建て替えを検討すべき状況に陥ったものが大勢です。

既に、雨漏りをしているところや、壁にヒビが入っている、水回りが故障しがちであるなど、幾多の問題に対症療法的に対応している現状です。

そこで、トイレの洋式化、空調設備の整備などという小手先の処置を施すのではなく、校舎の劣化状況により優先順位をつけ、一校でもよいから先行して校舎を建て替える必要があります。

小田原市が作成した『施設白書』が、ようやく生かされる事態が招来したと考えるか、単に、時間の経過に施設が耐えられなくなりつつあると考えるか。

かつて小田原市学校建設公社が担っていた機能を検証し、基金の目的を改正する必要があると思料いたします。

【陳情項目】

小田原市議会として、小田原市長に対し、『小田原市スポーツ振興・教育環境改善基金』を適切に改正するよう求めること。

平成27年12月10日

小田原市議会議長

武松 忠 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞